

町内の福祉施設と災害時における協定を締結

大規模災害時に福祉施設を一時避難施設として使用し、町民を受け入れる「民間協力緊急福祉避難所」の設置に向け、西原町は町内の福祉団体・施設と「災害時における福祉避難所としての使用に関する協定書」を締結し、12月16日に調印式を行いました。

本協定は、大規模災害時に緊急避難が必要な際、西原町の要請を受けた各施設を福祉避難所として開設し、周辺住民が利用できるようにしたものです。協定書を締結したのは、西原町社会福祉協議会（新川善昭会長）、介護老人保健施設西原敬愛園（仲泊順子理事長）、介護老人保健施設池田苑（宮城聡理事長）、介護老人福祉施設守礼の里（黒田雄理事長）の4つの団体・施設です。

調印式で上間明町長は「西原町ではこれまでの地域防災計画を見直し、新しくなった。その中で要援護者や高齢者、障がい者をどうするか、公共施設だけでは不十分だった。この協定をもとに、みなさんのご協力をいただきたい。これまでも増して、地域ぐるみで防災意識を高めていきたい」と今後の抱負を語りました。



西原小学校が創立130周年・西原幼稚園が65周年!記念式典と祝賀会を開催

西原小学校が創立から130周年、西原幼稚園が65周年を迎えたことを記念し、12月15日に記念式典と祝賀会が同小学校の体育館で開催されました。式典、祝賀会には多くの関係者や卒業生が参加し、節目を祝いました。

同小学校は西原間切時代の明治15年に創立された、西原町内で最も古い小学校です。130年の歴史の中では沖縄戦などの苦難の歴史を乗り越え、1万名余りの卒業生を送り出しました。卒業生は政財界をはじめ、産業、文化、福祉、教育分野など多くの分野で活躍しています。また西原幼稚園は、終戦間もない昭和21年に開園しました。

式典では、宮城優美校長が「地域のみなさまや歴代の関係者が歴史と伝統を継承しつつ、今日まで発展させてきた。多くの卒業生が多方面で活躍しているのは本校の誇り。これから子どもたちが輝かしい未来へと躍進していくよう、教職員が一丸となって努力していきたい」と式辞を述べました。

また上間明町長は「これまで行政として、施設整備等の教育環境の充実に努めてきた。今後も各種教育施策を最重要項目として、学校現場や地域の父母、PTAなどと連携して取り組んでいきたい」とお祝いの言葉を送りました。

式典に引き続き祝賀会が開催されました。余興として6年生の児童による合唱などが披露され、祝いの席を華やかに盛り上げました。また、記念事業として記念Tシャツの作成、金管楽器や遊具、冷水機の寄贈、記念誌の発行などが報告されました。



(公社)西原町シルバー人材センターが設立20周年記念式典と祝賀会を開催

高齢者の就業支援などの活動を行う(公社)西原町シルバー人材センターが設立から20周年を迎えたことを記念し、12月18日に記念式典と祝賀会を西原町中央公民館で開催しました。式典、祝賀会には同センターの会員をはじめ、役員や行政関係者など多くの方が出席しました。

同センターは県内町村では初めて、平成5年10月に設立。それ以来、契約金額や受注件数などの実績、会員数とも順調に伸ばしており、西原町の高齢者の生活基盤、活動拠点として機能しています。平成22年には独自の収益事業として「緑のリサイクル事業」をスタートさせ、草木類を活用した腐葉土「かえるくん」の販売を開始。平成24年には公益社団法人として認定されました。

式典では、翁長正吉理事長が「これまで本来の活動以外にもボランティアなどを実施してきた。これからますます高齢化社会が進む中、活力ある地域づくりのため、高齢者の活動拠点として地域社会での役割を果たしていきたい。社会に親しまれ、信頼される組織づくりを目指したい」と式辞を述べました。

また上間明町長は「高齢者の持つ知識、経験、能力を地域社会に活用するべく、これからの新たな発展を期待したい」とお祝いの言葉を送りました。



『平成26年西原町新春のつどい』『西原町功労者表彰式典及び町功労者・叙勲受章者祝賀会』を開催



【西原町功労表彰者】

□有功者表彰□

とくやま いさむ
渡久山 勇 西原町字小波津62番地

西原町身体障害者協会の役員としてハンディを抱えながらも多年にわたり障害者スポーツ大会等で優秀な成績を収め、特に2009年新潟国体の弱視の部40歳以上の200M走で優勝。障がい者に希望を与えるなど、身体障害福祉の向上に多大な貢献をした。

いしかわ たつこ
石川 多津子 西原町字小波津233番地の21（A-26）

西原町文化協会設立と同時に副会長を務め、活動の運営に協力。琉球舞踊を通して文化振興の発展に尽力する。また県外や海外での活動も多く、沖縄伝統舞踊の普及啓発に寄与している。子弟の指導育成にも定評があり、本町の文化の発展に多大に貢献している。

やら ちようしやう
屋良 朝昌 西原町字上原106番地の8

西原町文化協会設立と同時に監事と写真部会の部会長に就任。平成7年から同協会副会長を10年間務め、本会の活動活性化に尽力した。写真芸術をアピールし、写真愛好家の底辺拡大に努めるなど本町の文化の発展に多大に貢献している。

しおひら やすこ
潮平 保子 西原町字翁長426番地

西原町文化協会設立から現在まで華道部会の部会長として活躍している。また茶道部会でも副部会長を9年間務め、双方の部会活動の活性化に尽力した。長年にわたり華道・茶道の指導者として同協会の発展に尽力し、文化の発展に多大に貢献している。

□功労者表彰□

しおかわ ほつえ
塩川 初枝 西原町字与那城277番地の9

平成4年11月1日から平成25年11月30日まで西原町民生委員児童委員として7期21年間務めた。

おがわ さだこ
小川 貞子 西原町字我謝695番地の4

昭和61年12月1日から平成25年11月30日まで西原町民生委員児童委員として9期27年間務めた。※今回「厚生労働大臣表彰(社会福祉功労者表彰)」も受賞。

たまなほ みつこ
玉那覇 光子 西原町字嘉手苺32番地の7

平成4年11月1日から平成25年11月30日まで西原町民生委員児童委員として7期21年間務めた。

きやん みつひろ
喜屋武 光廣 西原町字池田83番地

平成10年12月1日から平成25年11月30日まで西原町民生委員児童委員として5期15年間務めた。

かよう まさゆき
嘉陽 正幸 西原町字小波津226番地の11（小波津団地D-12）

西原町情報公開及び個人情報保護制度運営審議会委員、町情報公開及び個人情報保護審査会委員を平成12年10月から平成25年3月まで6期12年間務めた。また内審査会会長を10年間務めた。

さくがわ せいいち
佐久川 政一 恩納村字嘉真1765番地の20

西原町情報公開及び個人情報保護制度運営審議会委員、町情報公開及び個人情報保護審査会委員を平成12年10月から平成25年3月まで6期12年間務めた。また内審査会会長を2年間、審議会会長を4年間務めた。



やら ちよこ
屋良 千代子 西原町字上原257番地

多年にわたり西原町老人クラブ連合会役員として組織発展に貢献した。

□善行者(団体)表彰□ 西原町の人材育成のために役立ててほしいと、町に対し多額の寄附を行った。

かねひで
金秀グループ（会長呉屋守将） 那覇市旭町112番地の1

しんちやうとうさんぶけい かぶしきがいしゃ
新中糖産業株式会社（代表取締役社長福里重盛） 西原町字小那覇628番地の1

【叙勲受章者】

□第20回危険業務従事者叙勲□

ちばな ただし
知花 正 西原町字小那覇337番地の7（瑞宝単光章）警察功労

昭和37年に琉球警察巡査を拝命。退職までの39年間、公共の安全と秩序の維持にあたり、治安維持の警察業務を全うした。退職後は沖縄県交通安全協会の講師を務めたほか、現在は西原町人権擁護委員として住民の人権相談を積極的に受けるなど、活躍している。

□秋の叙勲□

あらかき よしかず
新垣 善一 北中城村字喜舎場1515番地（本籍：小那覇）(旭日双光章)保健衛生功労

中部病院外科部長、救急外来部外科医長、部長を歴任。昭和53年、宜野湾市に新垣医院を開設し、地域医療と社会福祉の向上に寄与した。長年にわたり学校医、中部地区医師会役員、沖縄県医師会代議員などを務め、公衆衛生事業の向上に貢献している。現在は、宜野湾警察署嘱託医、中頭学校保健会顧問、沖縄県医師会代議員会議長など様々な分野で活動している。

□内閣府特命担当大臣表彰（消費者支援功労者表彰）□

たまなほ よしえ
玉那覇 良江 西原町字小波津119番地の1

消費者生活相談員の資質向上を目指し、勉強会の場として消費者問題研究会を発足。相談員の資質向上に寄与した。民生委員、ケアマネージャー、ヘルパー、老人会等に対し多重債務問題の啓発講座を開催。また卒業前の高校生に対し、消費者被害の啓発を5年間で100回以上開催し、被害の未然防止、啓発に貢献。現在も消費生活相談員として活躍している。

□厚生労働大臣表彰（社会福祉功労者表彰）□

おがわ さだこ
小川 貞子 西原町字我謝695番地の4

昭和61年に西原町民生委員児童委員として委嘱を受け、自主性・地域性を活かし、積極的に地域の福祉向上に大きく貢献するとともに、西原町民生委員児童委員協議会の会長を歴任し、組織の発展に寄与した。今回は、平成25年度西原町功労者表彰（功労者表彰）も受賞している。

